

第5次行田市総合振興計画 まちづくり指標取組状況報告書

No.	112	指標名	経常収支比率	単位	%	5総振ページ	191
策定時		90.8					
H23年度末		91.7					
H24年度末		92.1					
H25年度末		92.4					
H26年度末		92.4					
H27年度末		92.3					
5年後目標値 (H27年度末)		90未満					
10年後目標値 (H32年度末)		90未満					
<p>[凡例] 実績 5年後目標値 10年後目標 </p>							
中間評価結果		悪化		10年後目標値・変更後 (※ H26又はH27年末で10年後目標値を達成している場合のみ)			
前期(平成23年度～平成27年度)取組状況							
実施年度		実施内容					
平成26年度		<p>少子高齢化や人口減少など社会情勢の変化に対応した行財政運営を確立し、将来にわたって安定した行政サービスを提供するため、9月に「行田市行財政改革指針」、11月に「行田市行財政改革プログラム」を策定し、プログラムの中で経常収支比率の抑制を含めた財政指標の改善への取組みを位置づけた。</p>					
平成27年度		<p>行財政改革プログラムに基づき、歳入確保や歳出削減の取組みを実施し、経常収支比率の抑制を図り、その結果前年度比から0.1ポイントの改善が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歳入確保の主な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・市税等の徴収強化 ・各種事業の推進による自主財源の確保 ・ふるさと納税制度の活用 等 ○ 歳出削減の主な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への新電力の導入 ・道路整備の手法や工事資材の見直し 等 					
後期(平成28年度以降)の予定							
<p>引き続き経常収支比率の上昇を抑えるよう、行財政改革プログラムに基づき、歳入確保や歳出削減の取組みを実施するとともに、予算編成等を通して経常経費の削減を図っていく。</p>							
備 考							